

グローバル調達実践フォーラム

～SDGs、ESGを見据えたサステナブルな調達・物流施策の共同考察～

■開催日程■	■基本構成■ 【全体会】 13:00～14:30 【分科会】 14:40～17:00 ■全10回例会■
【体験参加可能】 第1回： 6月17日 (金)	●全体会：DX が主導するサプライチェーンレジリエンス ゲスト：(株)日立総合計画研究所 研究第3部 部長 松本 洋人 氏 2005年日立製作所 中部支社 企画部 部長代理 2007年 日立総合計画研究所 研究第2部 部長 2009年 日立総合計画研究所 研究企画 2014現在に至る ・技術戦略、産業分析を中心としたプロジェクトを推進 ・現在は、IoT、AI、ロボティクスなどデジタルが産業に及ぼすイノベーションを中心にまとめ  ○第29期オリエンテーション/仮分科会
第2回： 7月15日 (金)	●全体会：オープンイノベーション活動とオープンイノベーションコンテストによる技術調達 ゲスト：小林製薬(株) 中央研究所 研究推進部 社外連携グループ オープンイノベーションマネージャー 羽山 友治 氏 (理学博士) 2008年チューリヒ大学有機化学研究科博士課程修了2009～2017年複数の日系/外資系化学メーカーでの研究/製品開発に力を入れてオープンイノベーション者にて技術探索活動に従事 2018年小林製薬株式会社に入社 戦略策定者・現場担当者・仲介者の立場からオープンイノベーション活動に携わってきた。  ○分科会
第3回： 8月5日 (金)	●全体会：ブリヂストンの持続可能な調達にむけたグローバルサステナビリティ経営の推進 ～天然ゴムのサステナブル調達の取り組みを交えて～ (仮題) ゲスト：(株)ブリヂストン Gサステナビリティ部門 部門長 稲継 明宏 氏 2004年、ブリヂストン入社。グローバル全体の環境戦略策定やCSR戦略企画を推進。 2018年に経営企画部長としてグローバル本社の経営企画業務に従事した後、2019年よりグローバル全体のサステナビリティ戦略の推進に従事している。  ○分科会
第4回： 9月9日 (金)	●全体会：ビジネスと人権を巡るグローバルサプライチェーンの潮流とリスク ゲスト：日本貿易振興機構 アジア経済研究所 新領域研究センター 主任調査研究員 山田 美和 氏 法律事務所勤務を経て1998年アジア経済研究所入所。海外派遣員（2008年～2010年タイ）。 2013年より「ビジネスと人権」に関する政策提言研究プロジェクトを主宰。 ・特集サイト https://www.ide.go.jp/Japanese/New/Special/BHR。 日本企業の責任あるサプライチェーンに関する報告書等を執筆。2025年日本国際博覧会持続可能性有識者委員会委員。  ○分科会
第5回： 10月14日 (金)	●全体会：効果が体感できるDX デジタル調達改革(PX: Procurement Transformation)のススメ ゲスト：PwCコンサルティング合同会社 パートナー 野田 武 氏 エンジニアリング・建設会社、戦略コンサルティング会社を経て、現在に至る。 製造業全般、エンジニアリング、建設・不動産、エネルギー、通信、交通、流通・商社、メディアなど幅広い業界に対して20年以上のコンサルティング経験を有する。全社および事業の戦略、企業再生など事業のトランスフォーメーション、業務・組織の変革、オペレーション戦略（調達、生産、マーケティング、営業、SCM）など多様なプロジェクトに従事。  ○分科会

体験参加について

第1回例会は入会ご検討中の方を対象に「体験参加」を承ります。
詳細は最終ページをご覧ください。

■第7回：11月～第10回：3月までの日程は次ページをご参照ください。



一般社団法人
企業研究会
Business Research Institute Since 1948

第6回： 11月11日（金）	第7回： 12月9日（金）	第8回：2023年 1月13日（金）	第9回： 2月10日（金）	第10回： 3月10日（金）
-------------------	------------------	-----------------------	------------------	-------------------

【例会の基本構成】

- 気づきを得るための全体会**（13:00～14:30）
前半では、世界・社会で注目されているトピックと調達との諸関係などについて講演をしていただき、新しい気づき、参加者の視野を広げるテーマを取り扱っております。
- 実務的な課題を共有する分科会**（14:40～17:00）
後半の分科会（グループディスカッション）では、6人～10人程度のグループに分かれて、参加メンバーの課題を出し合い、お互いにその課題を解決するべく知恵を出し合います。

【運営の基本理念】

本フォーラムの参加メンバーは、ギブ・アンド・テイクをモットーとし、また守秘義務を遵守しながら、主体的に研究活動の成果向上に努める。

【守秘義務の遵守】

当フォーラムでの全体会・分科会・懇談会での内容、その他一切をメンバー外秘として取り扱うことを全員で徹底する。

【実務家が企画・運営を主導する体制】

本フォーラムは、研究テーマの企画・運営に関して「実務家主導」にこだわりを持っております。日々の調達・購買業務携わる実務家の方々が主導することにより、より実務課題の解決に直結した議論を展開することができます。また、実務家同士で同じ悩みを抱えているケースも多く、企業の規模や役職にとらわれずに本音の議論ができます。

第29期 幹事／研究協力委員体制 ※順不同 所属・役職は2022年4月時点・敬称略		
【運営幹事】 ～実務家の視点からフォーラム分科会運営のご支援をいただきます～		
株式会社 LIXIL	LIXIL HOUSING TECHNOLOGY 購買統括部調達企画・管理部 部長	土岐 壮史
河西工業株式会社	生産戦略グループ 執行役員	下原 敬
【研究協力委員】 ～調達・物流実務経験を軸に全体会・分科会のご支援をいただきます～		
サントリーホールディングス(株)	サプライチェーン本部 原料部 専任部長	阪本 章博
US Farathane Asia Pacific	日本駐在代表 （元:ヤマハ(株) 資材・物流部長・現：(株)マテリアルグループ 顧問 貿易・契約担当）	太田 修一
株式会社 LIXIL	LIXIL HOUSING TECHNOLOGY ビル事業本部 ビル調達部 部長	瓦間 敬一

ご参考：先期（第28期）参加企業～本社・事業部の資材購買・調達部門の部・課長及びスタッフの方々～ ※順不同			
株式会社 LIXIL	LHT 購買統括部	株式会社中村屋	SCM部
河西工業株式会社	生産戦略G 生産企画部	株式会社中村屋	ロジスティクス課
サントリーホールディングス(株)	サプライチェーン本部 原料部	河西工業株式会社	SCM調達企画部
US Farathane Asia Pacific	日本駐在代表	河西工業株式会社	生産企画部
株式会社 LIXIL	LHT 購買統括部 資材購買部	株式会社 LIXIL	LHT 資材統括部 技術購買部
花王株式会社	購買部門 間接オペレーション革新部	株式会社 LIXIL	LHT Japan 購買統括部
ダイキン工業株式会社	総務部 間接材購買グループ	株式会社 LIXIL	間接購買・購買管理部
ダイキン工業株式会社	総務部	日東電工株式会社	調達本部 第1調達部
富士フイルムビジネスエクスパート(株)	購買エンジニアリング部	日東電工株式会社	調達本部 第1調達部
池上通信機株式会社	調達統括部 購買部	富士フイルムホールディングス(株)	調達&機器生産部
バンドー化学株式会社	ものづくりセンター 調達部	株式会社ニチレイフーズ	素材調達部 素材調達G
ダイキン工業株式会社	グローバル調達本部 調達戦略室	東京電力ホールディングス(株)	廃炉資材調達センター
鈴与株式会社	営業推進室	古河電気工業株式会社	資材部 調達企画課
株式会社JTビジネスコム	調達グループ	大正製薬株式会社	資材部
日本ガイシ株式会社	資材部	日本ガイシ株式会社	資材部

■ 分科会 ～課題交流と課題解決のためのグループ研究～ ■

視点別の分科会を編成し、メンバーの問題意識、課題の集約化・重点化を図ります。
それぞれに成果をまとめ、各期での共有財産としてメンバー企業各社の調達実務の現場で活かされています。

※ご希望人数の状況により開催に至らない分科会もございます。
また分科会の分割、統合をする場合もございます。予めご了承ください。

■ 第29期 分科会編成:案 ■

【共通視点】

・グローバル ・サステナビリティ / ESG/SDGs ・DX化 / データ活用 ・リスクマネジメント

上記視点を踏まえ、下記テーマ別分科会の編成を予定しています。

【A】: 調達戦略:企画 / 推進 / 管理 / スキル向上

《交流視点: 例示》

- ・グローバルサステナビリティ調達とは？
- ・調達戦略 / 方針管理 / KPIとは？
- ・調達システム(システム化/AI化/DX化)とは？

具体的な交流テーマは、各分科会内での関心事の共有と協議にて自由にご決定いただきます。

【B】: 開発購買(B to B 企業とB to C 企業) / 新技術・新素材 新規サプライヤー探索

《交流視点: 例示》

- ・事業目的とサステナビリティの観点からの開発購買の役割を紐解く(開発購買)
- ・技術・開発部門を中心とした協業連携方法(VE、開発購買)
- ・開発購買による事業への提案力強化活動
- ・技術・開発の探索方法(DXの必要因子)

【C】: これからの「間接材調達」のあり方

《交流視点: 例示》

- ・間接材購買コスト削減への「選択」と「集中」への最適ツールとは？
- ・間接材調達のカテゴリー戦略 / 優先順位付け / KPI設定とは？
- ・間接材購買のガバナンス・コンプライアンスリスクとは？

【D】: ロジスティックス / サプライチェーンマネジメント

《交流視点: 例示》

- ・地球環境/サステナビリティを意識した物流業務効率化とSCMとは？
- ・グローバルサプライチェーンのレジリエンス構築とは？
- ・グローバルサプライチェーンの不確実性とリスクの可視化とは？

■ ご参考 ■

《先期:第28期の分科会編成と主要交流ポイント》
-右図は最終例会で[A] / 「C」 分科会: 発表資料の抜粋-

A. 間接材購買の最適化の考察

- ・最適化の要因
- ・集中と戦略「カテゴリー戦略」)
- ・最適リソース配分
- ・正しいKPI設定

B. リスクマネジメント / DX / 物流

- ・環境/CSR対応
- ・SDG's
- ・ペーパーレス化
- ・グローバル物流の最適化

C. サステナブル調達

- ・サプライチェーン管理
- ・SDG's
- ・CSR活動
- ・リスクマネジメント
- ・CO2排出量削減

D. 購買・調達機能強化の方向性

- ・調達スキル
- ・開発購買
- ・DX

A分科会「間接材購買DXチーム」

➤ 1年間のチーム討議を通して、間接購買活動を最適化するためのKey factorは以下と考えられた。



共通認識した主要キーワード

- ・サプライチェーン管理
- ・SDG's
- ・CSR活動
- … 各社のサプライヤーへのCSRアンケート調査実施
- … アンケート結果の評価
- ・リスクマネジメント
- ・CO2排出量削減



■1名様：参加費 ※税込み

法人会員：231,000円 本体価格：210,000円 ー 一般：269,500円 本体価格：245,000円

- * 分割請求やお支払い時期のご相談について承ります。
- * 合宿研究会、特別会合・交流会などの開催が可能の際には別途実費をご負担いただきます。
- * 正会員登録の有無など、よくあるご質問(FAQ)は、当会ホームページでご確認いただけます。
([TOP] → [異業種交流会] → [よくあるご質問 (FAQ)])
- * マーケティング・営業を目的としたご参加はご遠慮いただいております。ご了承ください。

■申込方法

以下の①②のいずれかの方法でお申し込み下さい。

①企業研究会のウェブサイトで申込み。

ホームページ内：本フォーラムページ
<https://www.bri.or.jp/tyoutatu/>

グローバル調達実践フォーラム

検索

②メールで下記担当者宛に以下をお送り下さい。

- ①会社名 ②ご所属・お役職 ③氏名(フリガナ)
- ④会社住所 ⑤メールアドレス ⑥電話番号
- ⑦「正式参加」または「体験参加」のご意向

●お申込みをいただいた方（含む体験参加の方）には、第1回例会のご案内をメール送信いたします。

■開催方法につきまして：

安全な開催が可能となるまでオンラインツールの利便性を活かし原則『オンライン開催』といたします。

※状況により全例会がオンライン開催となる場合もございます。

※使用するオンラインツールは、『Zoom』を原則と致します。

※オンライン・会場開催によるご参加費の変更はございません。

■体験参加制度につきまして

第1回例会はご入会検討中の方を対象に、正式申込前にフォーラムの雰囲気をご覧いただく「体験参加」を承ります。ご希望の方はお申込み時にその旨をご教示ください。

【お願い】全体会みの聴講はご遠慮ください。

全体会後のオリエンテーション・交流対話にご参加頂ける方に限らせて頂きます。

■お申込み・お問合せ：



一般社団法人 企業研究会 研究交流事業グループ 担当：早瀬

早瀬携帯：080-1393-5598 E-mail：hayakan@bri.or.jp

〒110-0015 東京都台東区東上野1丁目13-7 ハナブサビル
代表電話：03-5834-3920



一般社団法人
企業研究会
Business Research Institute Since 1948

●弊会の技術系：研究/交流事業●

URL

・ R&Dマネジメント交流会議	https://www.bri.or.jp/rdmgt/
・ 知的財産戦略交流会議	https://www.bri.or.jp/titekizaisan/
・ 特許戦略スタッフ会議	https://www.bri.or.jp/tokkyostaff/
・ 品質革新マネジメントフォーラム	https://www.bri.or.jp/hinsitu/
・ ソフトウェア開発マネジメント交流会議	https://www.bri.or.jp/software/
・ コンピュータによる材料開発・物質設計を考える会	https://www.bri.or.jp/camm/
・ オープン・イノベーション推進者交流会議	https://www.bri.or.jp/openinnovation/
・ 開発塾	https://www.bri.or.jp/kaihatuzyuku/
・ 技術経営塾	https://www.bri.or.jp/gizyutukeieizyuku/
・ 環境マネジメント交流会議	https://www.bri.or.jp/kankyoku/